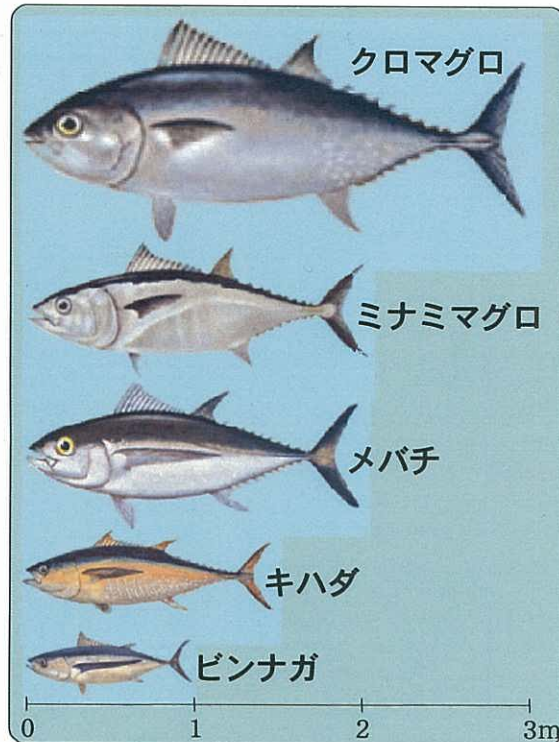
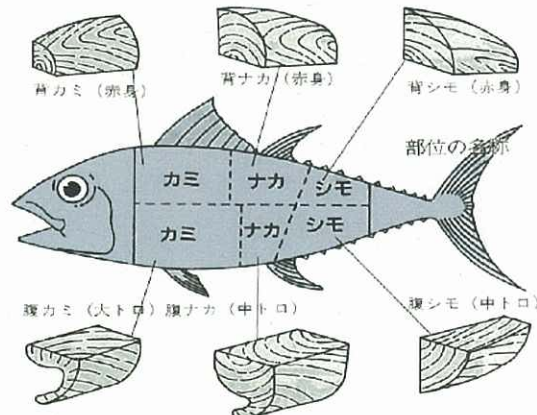


1. 主要なまぐろ類



資料: 日本かつお・まぐろ漁業協同組合



資料: 社団法人責任あるまぐろ漁業推進機構

クロマグロ(Bluefin Tuna):

地中海を含む大西洋、太平洋の主として北半球に分布。本マグロとも呼ばれ、マグロ類の中でも最高級品とされる。インド洋には分布しない。

ミナミマグロ(Southern Bluefin Tuna):

南半球の高緯度海域を中心に分布。インドマグロとも呼ばれ、クロマグロに次ぐ高級品とされる。

メバチ(Bigeye Tuna):

世界中の温帯から熱帯の海域に分布。目玉が大きくぱっちりしていることから目鉢マグロと呼ばれる。

キハダ(Yellowfin Tuna):

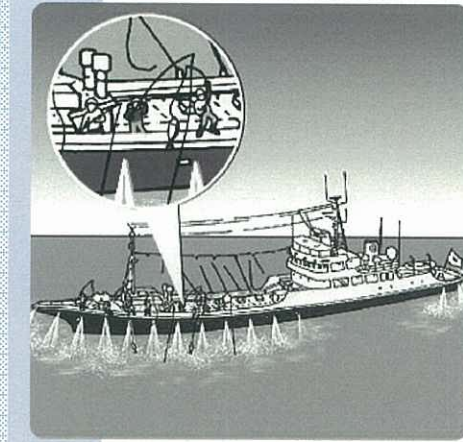
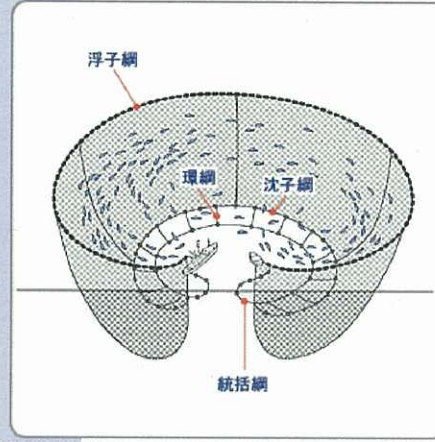
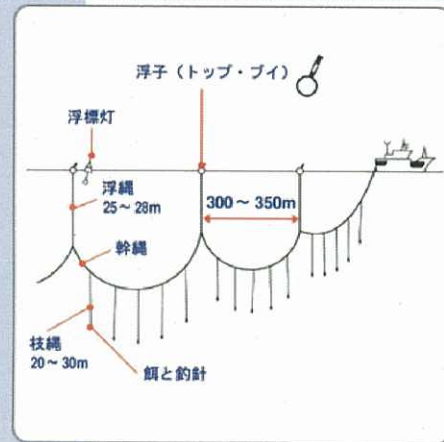
メバチとほぼ同じ海域に分布。体色が黄色味がかっていることから黄肌マグロと呼ばれる。缶詰の原料にもなる。

ビンナガ(Albacore Tuna):

世界中の海に広く分布する小型のマグロ。長い刀状の胸びれが特徴で油漬けの缶詰の原料にもなる。ビンチョウ、トンボとも呼ばれる。

2. 漁業の種類

図: 社団法人大日本水産会



※図は一本釣り

はえ縄

- ・主にクロマグロ、ミナミマグロ、メバチ、キハダ、ビンナガを対象
- ・日本、韓国、台湾、中国、インドネシア等(刺身用)

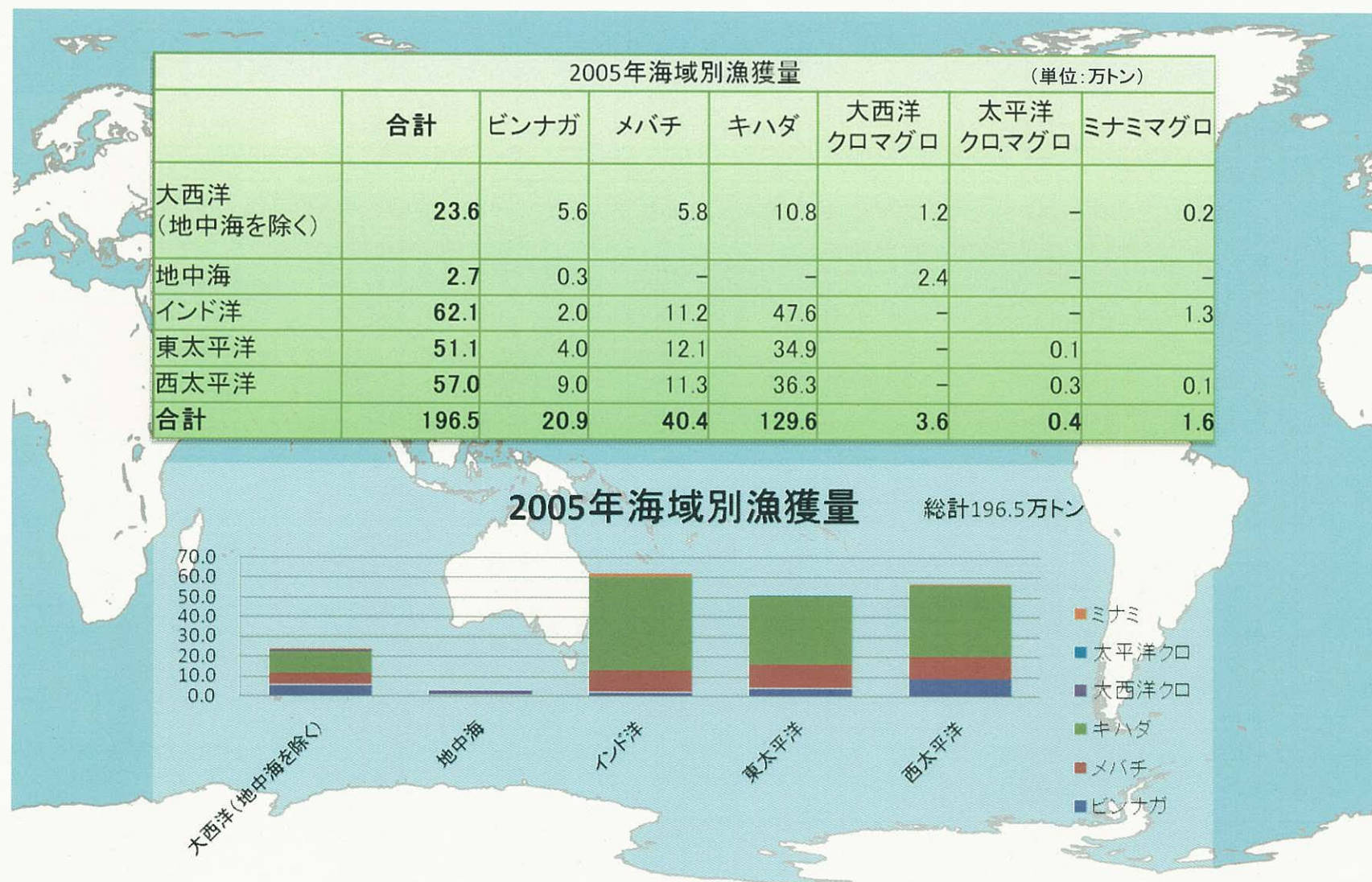
まき網

- ・主にカツオ、キハダを対象
- ・日本(鰹節、缶詰用)
- ・スペイン、メキシコ、米国等(缶詰用)
- ・スペイン、フランス等(蓄養クロマグロ用)

竿釣り

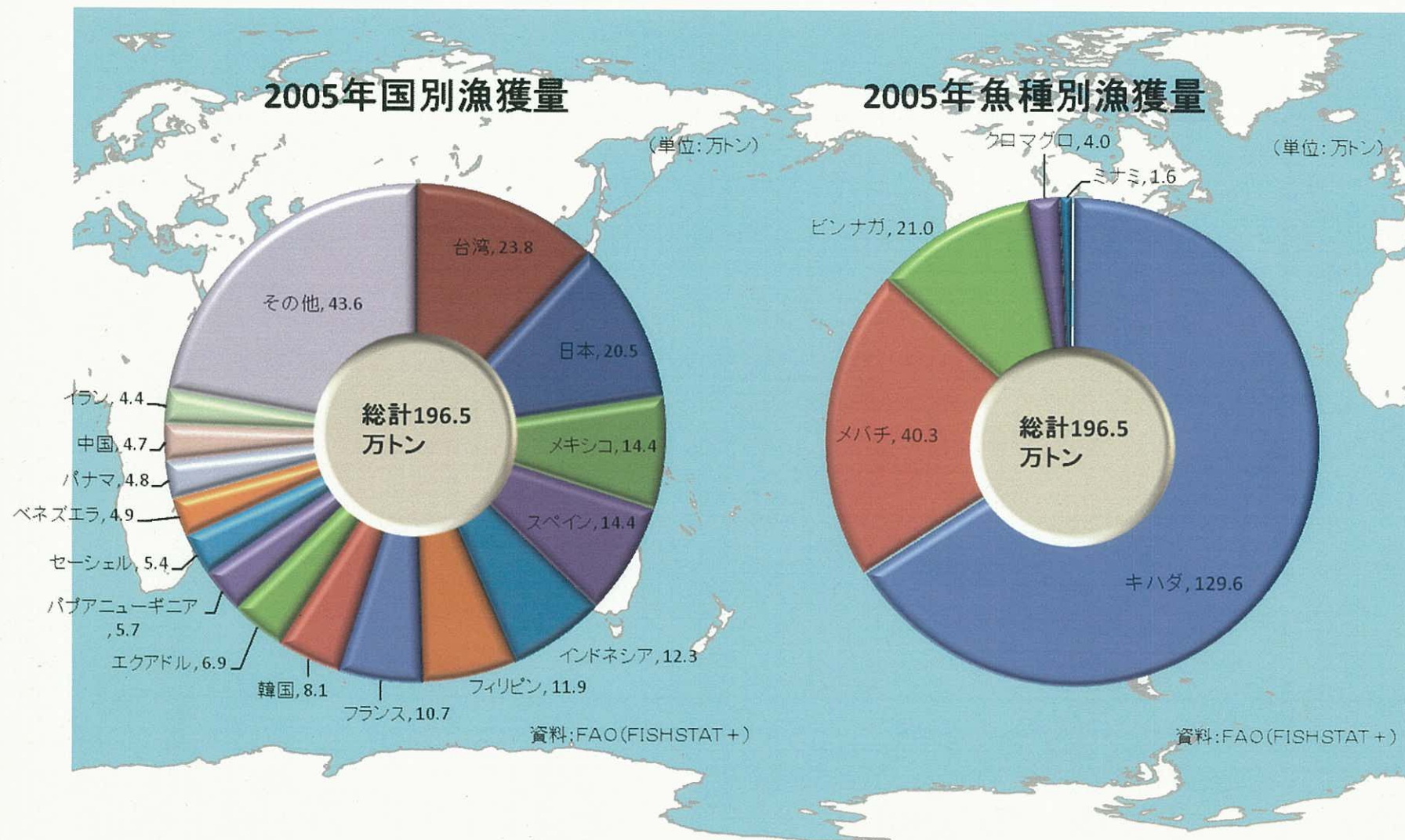
- ・主にカツオ、ビンナガを対象
- ・日本[一本釣り](刺身用)
- ・ガーナ等(缶詰用)

3-1. 主要なまぐろ類の漁獲量

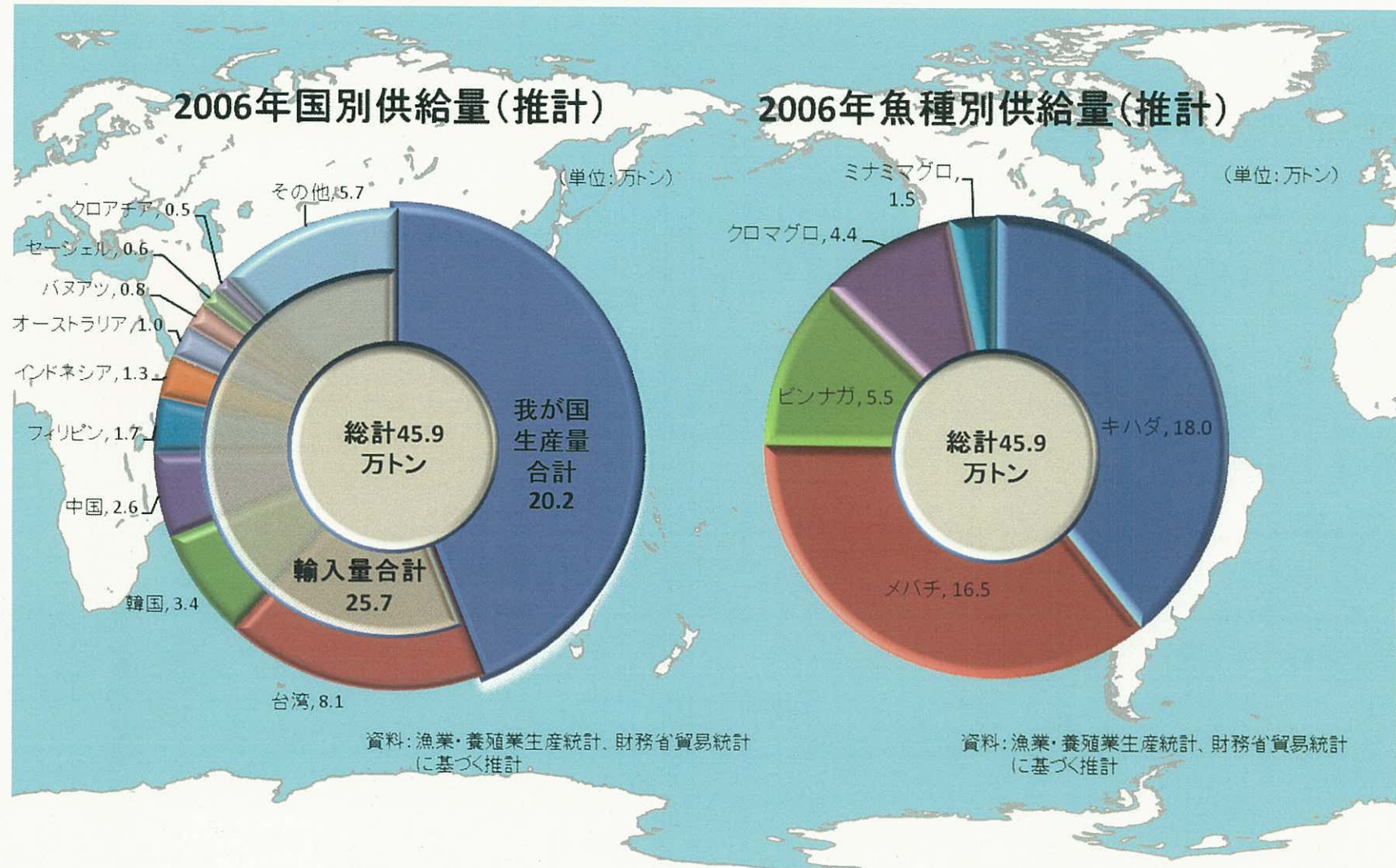


資料: FAO (FISHSTAT+)

3-2. 主要なまぐろ類の漁獲量

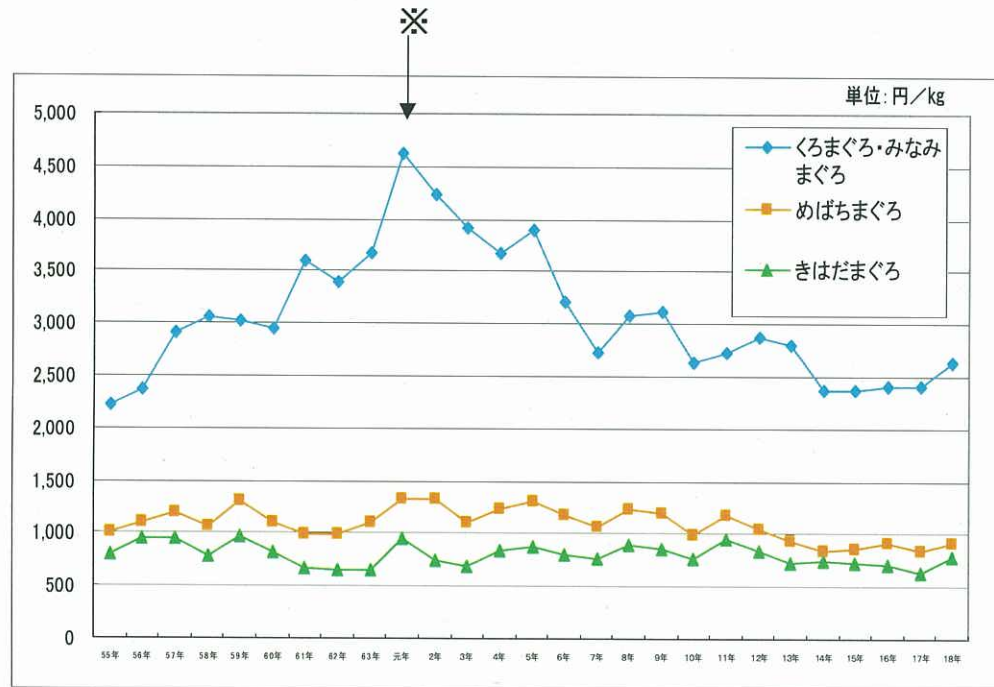


4-1. 我が国の主要なまぐろ類供給量



4-2.まぐろ類価格の推移

冷凍まぐろ類の価格の推移(10都市中央卸売市場(消費地市場))



資料: 農水省水産物流通統計

注1: 各魚種の冷凍品の10市場平均価格

注2: くらまぐろ・みなみまぐろは両魚種の加重平均

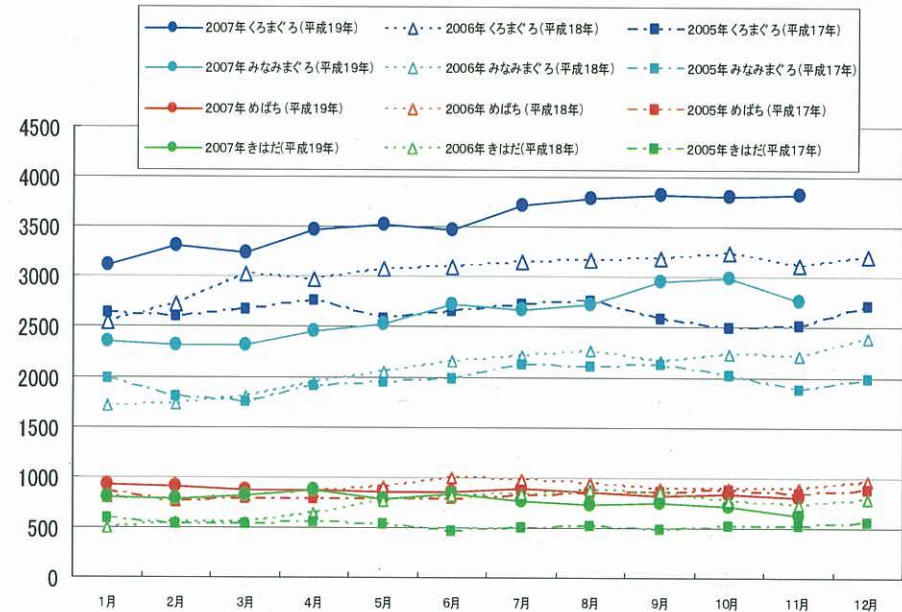
注3: 10都市は、札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島及び福岡

※バブル経済下での高級品需要の高まりにより「くらまぐろ及びみなみまぐろの加重平均価格」は平成元年がピーク(4,626円/kg)となった。

直近の冷凍まぐろ類月別価格の推移

(東京都中央卸売市場(消費地市場))

単位: 円/kg

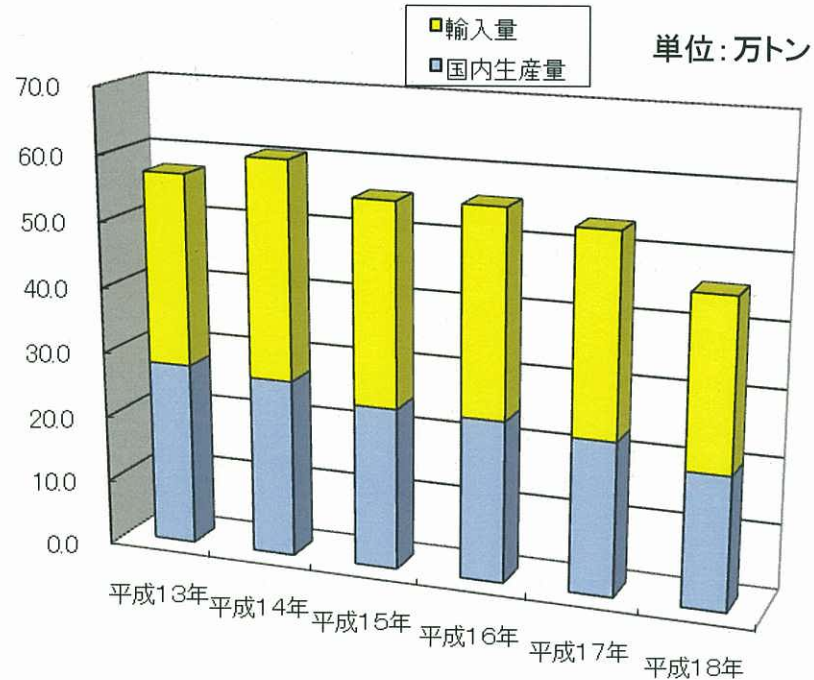


資料: 漁業情報サービスセンター調べ

注1: 速報値での調査となるため東京都中央卸売市場のみ

4-3. 我が国のまぐろ類供給量(推計)の前年との比較

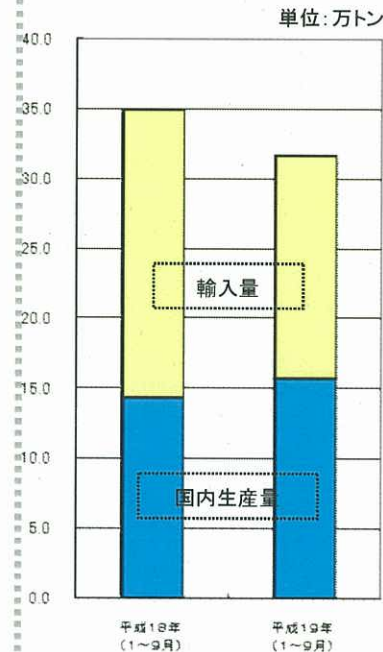
供給量(国内生産量+輸入量)平成13～18年



資料 国内生産量・・・農水省漁業・養殖業生産統計(平成18年は概数)
輸入量・・・財務省貿易統計

注: まぐろ類として、クロマグロ・ミナミマグロ・メバチ・キハダ・ビンナガの5種類を集計。

平成18年・19年 1～9月までの供給量比較



単位: 万トン

	国内 生産量	輸入量	合計 (供給量)
平成18年 (1～9月)	14.4	20.6	35.0
平成19年 (1～9月)	15.7	16.0	31.7
19年/18年	109%	78%	91%

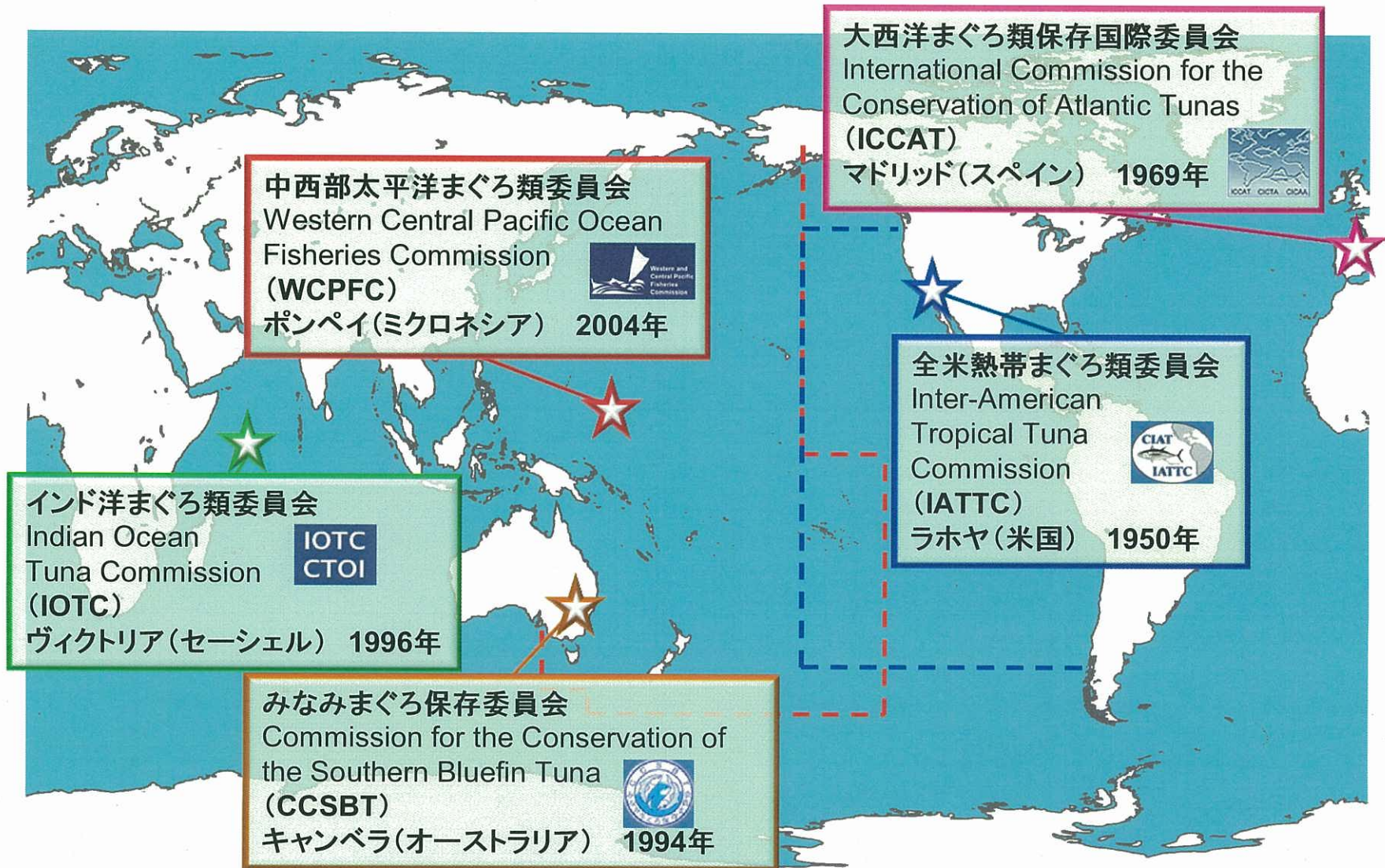
資料 国内生産量・・・水産物産地流通統計の月別生産量に基づき算出した推計
輸入量・・・農林水産物輸入情報(平成19年9月分)

供給量減少の要因

- ・資源状況の悪化による不漁(国内生産及び輸入の減少)
- ・燃油高騰による国内船の廃業及び操業の見合わせ(国内生産の減少)
- ・台湾漁船に対する漁獲規制(輸入の減少)
- ・海外における需要の増加(輸入の減少)

5. まぐろ類の地域漁業管理機関(RFMO)

Tunas Regional Fisheries Management Organization



6. 主要なまぐろ類の資源状況

まぐろ類の海域別資源状況

魚種	ICCAT 大西洋	IOTC インド洋	IATTC 東部太平洋	WCPFC 中西部太平洋	CCSBT ミナミマグロ
クロマグロ	東大西洋： 低位／減少 西大西洋： 低位／横ばい	—	—	調査中／調査中	—
ミナミマグロ	—	—	—	—	低位／横ばい
メバチ	低位／横ばい	中位／減少	低位／横ばい	中位／横ばい	—
キハダ	中位／横ばい	中位／横ばい	中位／横ばい	中位／横ばい	—
ビンナガ	北大西洋： 中位／横ばい 南太平洋： 中位／横ばい	中位から低位／ 減少		北太平洋： 高位／横ばい 南太平洋： 高位／減少	—

(注)

水産庁「平成18年度 国際資源の現況」より

「資源水準／資源動向」の順に表示

資源水準：最近20年の資源状況と比較し、高位、中位、低位の3段階で評価

資源動向：最近5年の資源動向から、増加、横ばい、減少の3段階で評価